

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	日本事情	担当教員	一般科人文教員		
学年学科	3年 留学生	通年	必修	1単位	
学習・教育目標	(C-1) 25% (B-1) 75%				
<b>授業の目標と期待される効果:</b>  日本の歴史・風土から、現代最新事情まで日本の歴史・風土から、現代最新事情まで日本の歴史・風土から、現代最新事情まで日本と人を取り巻く様々な問題や課に 日本と人を取り巻く様々な問題や課に ついて、幅広知見を獲得する。またその理解を通じて日本語の運用能力高める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の歴史や文化について基本的知識を身につける。</li> <li>現代日本における様々な問題を理解す。</li> <li>自分の出身国と日本違いを、様々な角度 分の出身国と日本違いを、様々な角度から客観的に理解する。</li> <li>日本語でのプレゼンテーション能力を身につける。</li> </ul>		<b>成績評価の方法:</b> 前期:中間試験 100 点+期末試験 100 点 +課題・小テスト(50 点~100 点の範囲に収めるものとする) 後期:中間試験 100 点+期末試験 100 点 +課題・小テスト(50 点~100 点の範囲に収めるものとする) 学年:前・後期の重みを等しくして合計し得点率(%)で成績をつける。  <b>達成度評価の基準:</b> 日本の歴史や文化的知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>現代日本の様々な問題</li> <li>出身国と日本の違い</li> <li>日本語でのプレゼンテーション能力</li> </ul> を測定する試験で 6割以上きる こと。			
<b>授業の進め方とアドバイス:</b> 特定の教科書は指せず、授業ごとに材が提示される。幅広いテーマを扱うで普段から日本語新聞やニュー特定の教科書は指せず、授業ごとに材が提示される。幅広いテーマを扱うで普段から日本語新聞やニュー特定の教科書は指せず、授業ごとに材が提示される。幅広いテーマを扱うで普段から日本語新聞やニューなどの接する機会を多くしておくこと。					
教科書および参考書:適宜プリントを使用					
授業の概要と予定:前期					ALのレベル
第 1回:日本の暮らし①					B
第 2回:日本の暮らし②					B
第 3回:日本の暮らし③					B
第 4回:日本の自然・地理①					B
第 5回:日本の自然・地理②					B
第 6回:日本の自然・地理③					B
第 7回:日本の自然・地理④					B
第 8回:中間試験					
第 9回:現代日本を取り巻く環境①					B
第10回:現代日本を取り巻く環境②					B
第11回:現代日本を取り巻く環境③					B
第12回:現代日本を取り巻く環境④					B
第13回:現代日本を取り巻く環境⑤					B
第14回:現代日本を取り巻く環境⑥					B
期末試験					
第15回:時事問題、新聞読解、グループディスカッション①					C

授業の概要と予定:後期	ALのレベル
第16回:時事問題、新聞読解、グループディスカッション②	C
第17回:時事問題、新聞読解、グループディスカッション③	C
第18回:時事問題、新聞読解、グループディスカッション④	C
第19回:時事問題、新聞読解、グループディスカッション⑤	C
第20回:時事問題、新聞読解、グループディスカッション⑥	C
第21回:時事問題、新聞読解、グループディスカッション⑦	C
第22回:時事問題、新聞読解、グループディスカッション⑧	C
第23回:中間試験	
第24回:映像をもとに日本について考える(映画・ドラマ・ドキュメント)①	B
第25回:映像をもとに日本について考える(映画・ドラマ・ドキュメント)②	B
第26回:映像をもとに日本について考える(映画・ドラマ・ドキュメント)③	B
第27回:映像をもとに日本について考える(映画・ドラマ・ドキュメント)④	B
第28回:映像をもとに日本について考える(映画・ドラマ・ドキュメント)⑤	B
第29回:映像をもとに日本について考える(映画・ドラマ・ドキュメント)⑥	B
期末試験	
第30回:日本の言語と文化の関わり	B

評価(ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	日本の歴史や文化に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	日本の歴史や文化に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	日本の歴史や文化に関する問題を解くことができない。
②	現代日本の問題に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	現代日本の問題に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる	現代日本の問題に関する問題を解くことができない。
③	出身国と日本の違いに関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	出身国と日本の違いに関する問題をほぼ正確(6割以上)に行なうことができる。	出身国と日本の違いに関する問題をほぼ正確に行なう
④	日本語でのプレゼンに関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	日本語でのプレゼンに関する問題をほぼ正確(6割以上)に行なうことができる。	日本語でのプレゼンに関する問題をほぼ正確に行なう